

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者も含めて考え方や見方に固定観念ができてしまっている。 また、法人の理念・あおぞらの理念に対してズレができてしまっている。	グループホームの役割・求められる介護の実現に向けて取り組む。	グループホームの役割・意義を基本から職員全員で考える。 そして、あおぞらの理念と共に、現状の振り返りを毎月行う機会を作る。	12ヶ月
2	6	介護する側の都合での言葉であることに気づかず、言葉かけを行っている。	職員が丁寧な言葉や思いやりのある気持ちで接することができるようになる。	言葉の拘束について現場や会議で振り返り、言葉の言い換えを意識してコミュニケーションをとりながら、声掛けや言葉かけができるようにしていく。	12ヵ月
3	34 38 48	認知症状等、日々変化する入居者様の状態や突発的な行動への柔軟な対応が不足している。	認知症理解や専門性を高めて、入居者様一人ひとりに、より柔軟な対応が出来るグループホームを目指す。	認知症の勉強会を定期的に行い、理解を深める。 症状に合わせた対応で、どんな対応が上手にできたのか職員間で情報の共有を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。